

# 心豊かな世代が育つ

## 童話の里づくり 420

―シリーズ― あなたの人權・わたしの人權

「気持ちを伝えるために

大切なこと」

八幡小学校 5年

芝原 柚羽

学校の道徳の授業で、コミュニケーションについて学習をしました。

最初に動画を見ました。仲の良い三人グループの話でした。その中の一人が、スマートフォンのメールに返信しなかったことがきっかけで、あとの二人に無視され、仲間はすれにされてしまうという内容でした。

動画を見た後、メールの返信が来なかった時の二人の気持ちを考えました。

二人は、「なんで返信しないの?」「思っているように、私は感じました。」

クラスの友だちからは、「自分だけ勉強してずるい。」

「三分以内に返信する約束でしょ。」などの意見が出されました。

その後、どうすればよかったかを考えました。

私は、ちよつと待つてみて返信が来なかったら、次の日に学校で、昨日返信がなかったけどどうしたのか、直接本人に聞いてみれば良いと思いました。

みんなからは、「いそがしいのかな」「返事を返せないとこころにいいのかな」など相手のことを考える「思いやり」がないといけないという意見も出ました。

返信がない時は、(もしかしたら、何かあったのかも)と考へて、返信を待つておくといいい思いました。

そして、もつと大切なことは、直接相手を見て伝えることだと思いました。

授業の中で「メールで謝ろう。」という場面がありました。

私は、「メールじゃ、ごめんなさ

いの気持ちは伝わらない。」と思いました。メールだと、相手の表情や様子がわからないからです。

それに、文字だけでは自分の本当に悪かったという気持ちが相手に伝わらないとも思っています。

私も友だちからさけられているように感じて、なやんでいたことがありました。

だけど、勇気を出して友だちと話をしてみると、自分のかんちがいだったことがわかりました。

自分だけでなやむよりも直接会つて話すと、すぐにかい決でき、気持ちもすつきりしました。

また、友だちの顔を見て話すことで、安心することもできました。

スマートフォンは、とても便利な道具です。

だけど、人とコミュニケーションをとる時は、相手の気持ちや立場を考へた「思いやり」を持つこと。

本当に伝えたいことは、相手の顔を見てきちんと伝えることが大切だと思いました。

これから、この二つの大切なことをいつも忘れずにすごしていきたいです。

「大分県青少年のネット利用実態調査」によると、青少年のインターネット利用率は、年々増加しています。令和元年度は、小学生83.6%、中学生98.6%、高校生99.2%の子どもたちが利用しています。

その中で、約3割の子どもたちが「何らかのトラブルがあった」と回答しています。

とくに子どものスマートフォンの利用について、ネットやSNSのリスク、安心・安全な利用など親子で話し合つてルールを作りたいですね。

この人權作文について、意見や感想、激励など、お寄せください。また、みなさんの投稿もお待ちしております。

わたしたちをとりまく様々な不合理や差別について気づいたことや感じたことを、二〇〇字程度にまとめてみましょう。住所、氏名、連絡先電話番号を記入して(匿名も可)、玖珠町教育委員会社会教育課「あなたの人権・わたしの人權」までお届けください。

